

## 大型船用サンマ調査用中層トロール開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード: 作成者: 上野, 康弘 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012421">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012421</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



# ズワイガニの資源診断

八戸支所

特別研究員 上田 祐司

## 研究の背景・目的

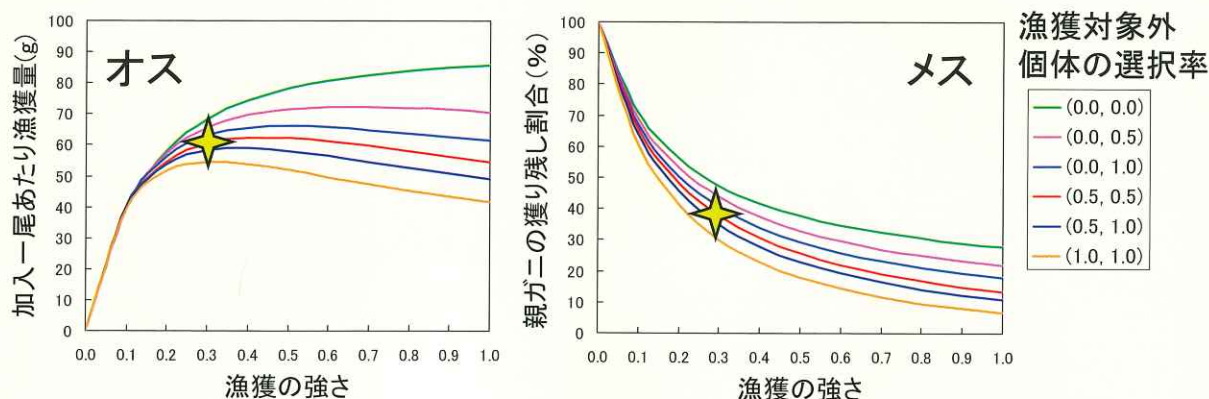
1. 東北海域の本種もTAC魚種として重要
2. 資源モデルを用いて現状の漁獲の強さでの資源状態を診断

## 研究成果

1. 現状の漁獲の強さは適切な水準, これ以上漁獲を強くすると, 漁獲量は増えないが親ガニ量は減少
2. 漁期制限などの漁獲規制が資源状況に効果的に作用

## 波及効果

1. 本種の持続的な漁業生産
2. 太平洋北部における成長や再生産関係が明らかになると, 資源量や漁獲量の将来予測も可能



漁獲の強さに対する, オスの加入一尾あたり漁獲量およびメスの親ガニの取り残し割合。漁獲対象外個体は, オス(平均甲幅44.3mm, 58.7mm), メス(平均甲幅49.6mm, 66.2mm以上の未成熟ガニ)。★は現状の漁獲の強さを示す点。